

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	基礎演習 I		
担当者(Instructors)	柿原 聖治	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

大学人としての個人の基礎力をつけることが本講義の目的である。高大接続を意識しつつ、導入教育として、学生同士の間関係の構築を図り、大学生活への導入をスムーズに行えるようにする。また、学びへの関心を呼び起こし、自分の成長のための自己管理の重要性を認識させ、習慣化させる。自己管理にはポートフォリオを活用し、その記録を確認しながら個別の面談により、指導を行う。また、講義の受け方、他人の話の聞き方、話し方などに加えて、レポートの書き方などを行う。同時に新しい人間関係の構築も目指す。また、授業では対話、実技、講義、調べごと学習を中心に行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を実施する。授業内容に応じて講義、グループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	基礎演習の説明、履修登録の確認、係り決め、キャンパスガイドの説明を理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	個別面談、レポート	個別面談を行う。レポートテーマは「子ども発達学科で学びたいこと」について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	学術情報センターガイダンスと学生ポートフォリオの説明	学術情報センターの利用方法と学生ポートフォリオの記入方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	学長による講話	建学の精神、「真面目」「真に信頼される」ことについて、学長による講話から学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	読後レポートの準備(資料集め)	読後レポートのための準備として資料集めを行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	読後レポートの準備(発表準備)	読後レポートのための発表準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	読後レポートの発表	読後レポートの発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	ゲストスピーチ	専門分野で活躍するゲストスピーカーの講演を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	スポーツ大会の計画と準備	スポーツ大会の計画と準備をグループで行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	スポーツ大会の実施	スポーツ大会を行いグループのチームワークを深める。	<input type="checkbox"/>
第11回	レポートの書き方(マナー)	レポートの基本的なマナーを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	レポートの書き方(資料集め)	レポートの基本的な資料収集の方法を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	レポートの書き方(記入)	レポートを完成させる。	<input type="checkbox"/>
第14回	レポートの書き方(発表)	レポートの発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	前期で改善すべき点や反省点を話し合う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、次回の授業を理解するために、毎回指示するテーマや課題を予め調べておく(2時間程度)。事後学習としては、授業で扱ったテーマや課題について関連資料を参照しながら復習する(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートについては、添削・採点の上返却し、全体で共有する機会も持ちながら課題に対しフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	レポートの基本的な書き方について理解し、作成することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	ゲストスピーカー等、発表者の話を理解し、それらに対する自分の考えを文章でまとめることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	さまざまな教育現場での課題に対して主体的になって向き合い、収集した情報を基に発表資料を作成し、相手にわかりやすい発表をすることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
読後レポート、レポートの発表内容から、思考力・表現力・判断力が身についたかを評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で必要に応じて紹介する。	
2		
3		
4		
5		